

ひろば

福岡教育大学附属図書館報 第142号

Side A : 図書館長ご挨拶

Side B : 電子ジャーナル講習会

ご挨拶

附属図書館長 池田 修

現在、福岡教育大学附属図書館は昭和40年竣工から44年を経過し、本学の学習・教育研究活動を支援していく中で蔵書約53万冊、新聞8種、和雑誌7,193種、洋雑誌2,108種、DVD・ビデオ1,717本を所蔵するようになりました。近年では、Elsevier、Springer、Wiley等の電子ジャーナルやScopus及びCiNiiなどのデータベースの整備、本学教員の電子的研究成果物の発信元である機関リポジトリの運用など、様々な学術情報の収集・保存・提供を行っています。また、地域の方には、図書館を開放するだけでなく、こども図書室を設置し、本学学生に読み聞かせ活動の場を提供するなど、生涯学習支援にも取り組んでいます。

一方、国立大学図書館を取り巻く環境は、学術図書・電子ジャーナルの価格高騰、学習活動や教育研究活動の多様化、国立大学の法人化に伴う財政緊縮化傾向の進展など慎重に対応すべき多くの問題が生じています。また本学附属図書館においてはこれらの諸問題に加え、冒頭で述べましたように図書館の建物が築44年を超えることから、施設・設備の老朽化と蔵書の増加に伴う書庫の狭隘化という問題も生じています。

これらの諸問題に対して、本学附属図書館では次のような対応策を現在進めています。電子ジャーナル及びデータベースについては、教員各位のご理解のもと共通経費化により、安定的利用が可能となりました。今後は6月に実施した電子ジャーナル及びデータベースに関するアンケート調査結果に基づいて、ニーズに応じた情報リテラシー講習会の開催等により、教職員諸氏並びに学生諸君の更なる利用促進を図りたいと考えています。

次に、多様化する学生の学習活動への支援については、他大学で導入の進んでいるラーニングcommons（Learning Commons）の新設を予定しています。ラーニングcommonsとはネット世代の学生の自主的学習を支援するために、図書館所蔵の図書や雑誌という紙媒体と電子ジャーナルやデータベースに代表される電子情報の両者を自由に活用できるネットワーク環境の整備された「共有空間」です。そのグループラーニングエリアでは、“会話ができる”ことから、少人数のグループでホワイトボード、プロジェクター、PC及び無線LANを使って、「ディスカッションをしながら」共同作業やプレゼンテーション及び模擬授業等の練習を行うことが可能です。本学図書館では改修を機に新設を行う予定です。

さらに、施設・設備の老朽化と蔵書の増加に伴う書庫の狭隘化については、改修時にPC増設、無線LAN設置、及び集密書庫の導入等でより快適で良質な学習空間・文化交流空間（ライブラリーホール）と学術情報の提供を目指したいと考えています。

知識基盤社会といわれる21世紀になって、すでに10年ほど経ち、上述のとおり、大学図書館を取り巻く環境も変化しています。こうした中であって、魅力ある図書館への進化を目指し、学生諸君や教職員諸氏の学習・教育研究活動及び地域社会の皆様の生涯学習を支える重要な学術情報基盤としての役割を果たすべく、職員一同努力を重ねています。学生諸君は将来の教育者としての学士力向上に、教職員諸氏には日々の教育・研究活動に、附属図書館を積極的に活用いただきますようお願いいたします。





開催しました！ レポート・論文作成支援講習会 <前期編>

レポートや論文作成には、「信頼できる学術情報」を収集することが必要です。こうした学術情報は、「電子ジャーナル」と呼ばれるオンライン雑誌が主流となってきています。教育大でも、いくつかの電子ジャーナル・データベースを契約しています。附属図書館では、これら電子ジャーナル・データベースの提供元から講師を迎え、この6～7月に4回、電子ジャーナル・データベースの利用講習会を実施しました。

教職員を始め、修士論文・卒業論文・レポートに取り組む大学院生・学部生の皆さんが受講されました。

JSTOR



6月15日(火) 4限

講師：ユサコ社 橋本 剛 氏



JSTOR は、コアな学術雑誌(英文誌)を創刊号から保存する電子ジャーナルのデータベースです。人文・社会科学・芸術学などの分野を中心にコレクションを形成しています。本学では、このうち Arts & Sciences I, III の2つのコレクションを導入しています。検索の仕方、情報のメールへの転送の仕方など、便利な機能について学びました。受講者の感想に「古い文献が利用できるのが便利だと思った。」とありました。創刊号から電子データで利用できる便利さも学べたようです。

リンクリゾルバ

6月17日(木) 4限

講師：スエッツ社 井上 淳也 氏



リンクリゾルバとは、教育大で利用できる電子ジャーナルへすばやくアクセスする仕組みです。また、該当する資料が図書館にあるかどうかを瞬時に判断し、探している資料の所在や入手方法を教えてくれるツールです。今回は、現在トライアル中のリンクリゾルバ「スエッツワイズ・リンカー」の講習でした。「論文の探し方が分かった。本だけでなく論文も使ってみたい。」との受講生の声が聞かれました。トライアルは8月いっぱいです。是非ご利用下さい。

SCOPUS, ScienceDirect

7月7日(水) 4限

講師：ゼファー・ビヨンド社 瀧本 まゆみ 氏



SCOPUS は、世界最大の学術出版社エルゼビア社が提供する、書誌・引用文献データベースです。その学術論文が載っている雑誌名や巻号を示す書誌情報、抄録情報(論文のダイジェスト)、その論文を引用している論文情報などを調査できる、研究に必須のデータベースです。Science Direct は、エルゼビア社提供のフルテキストの電子ジャーナルです。講習会では、良い学術論文の書き方や執筆時の注意事項などについても、講義していただきました。

ASP, ERIC



7月9日(金) 4限

講師：エブスコ・ジャパン 大久保 忠 氏



Academic Search Premier(ASP)は、社会科学や人文科学をはじめ、幅広い分野を網羅した論文(英文誌)のデータベースです。ERIC(エリック)は、米国教育省の教育資源情報センターの提供する、教育関係の文献データベースです。テーマと関連度の高いものを探し、学術雑誌に載っているものだけを探し…など、さまざまな検索方法や、一括してデータを保存する方法などを学びました。受講者からは、「これからの卒業研究に役立てたい。」などの声が聞かれました。

電子ジャーナルは、学内のパソコンで、「図書館 HP トップ」 → 「情報探索」から利用できます。